

「協働」 希望への縮充！！

～絆が織りなす地域コミュニティ～

◆強みの活かし方、解決したい事柄

朝日町には、地域間・組・隣家との信頼関係・連携が数多く残っている。今後、人口は減少するが、信頼関係による町づくり、地域づくりに参加する希望活動人口を増やし、縮小からの「縮充」を目指す。

◆将来像の実現に向けた目標

町の各施策を町民参加型にし、自分の地域は自分の力で元気にする「希望活動人口」の増加を目指す。



活動アイデア①

【担い合う】

～目指せ！日本一の「絆」コミュニティ～

◆内容

人口減が進む中で高齢者、女性等、元気のある人材から地域づくりに積極的に参加してもらい、地域・行政との協働による住民参加型のコミュニティを目指す。

維持管理費・運営の効率化等を鑑みれば公共施設の集約化は必要であるものの、朝日町には依然西・中・北部の旧行政区の文化、地域づくりが根強く残る。特に西・北部地区にあっては、役場からも遠いため、地域コミュニティを強化していくためには、現在の西・北部公民館を核とした地域づくりが望ましい。よって、町民と行政が協働で運営する「西部コミュニティセンター」・「北部コミュニティセンター」を設置し、日本一の「絆」コミュニティづくりを進める。

◆いつから 平成31年度

◆誰がどんな役割

- ⇒1. 自分たち(町民)・・・地域のために活動したい、コミュニティビジネス(活動費を生み出す仕組み)を展開したいと考える高齢者、女性等の元気ある町民が、コミュニティセンターを拠点施設に地域づくりの各種事業を展開する。
2. 行政・・・拠点施設の提供。組織の構築、人員の配置(行政と町民を繋ぐパイプ役)等、黒子役を担う。
3. 関係者・・・意識の変化を促す。出る杭を打たない風潮の構築(ねたみ・ひがみのない世界(笑))

活動アイデア②

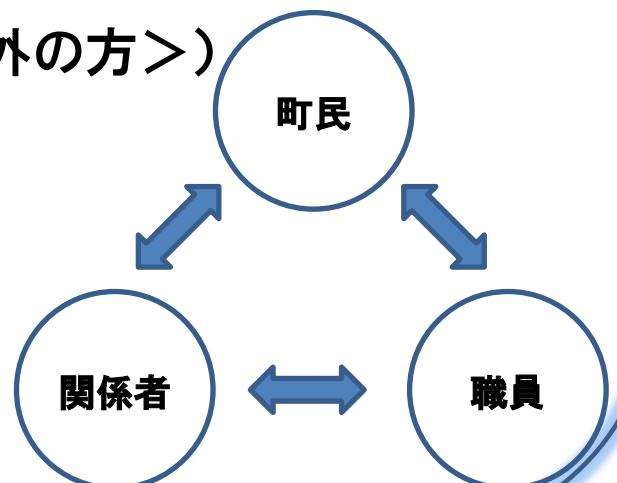
【知い合う】

◆内容

- ・旬な情報を密に交換(町民⇔職員)
- ・お知らせしたい情報の発信(町)
 - ※制度やイベント、補助事業など
 - HPに加えて掲示板(西北部公民館など)も利用
- ・お知らせしたい情報の発信(町民・関係者)
 - ※イベント等に行った感想(口コミ)や、町に住んでいて気付いたこと等(ガバメント2.0)
 - 発信者には景品(朝日町の特産品)**

◆役割

- ・情報発信
(町民・職員・関係者<町外の方>)
- ・情報交換
(町民・職員・関係者<町外の方>)



活動アイデア③

【高め合う】

～認め合い 互いに“WIN-WIN”な関係に～

◆内容

協働の町づくりをすすめていく中で、町民と行政が対等の関係を保ちながら互いに認め合い高め合うことを目標とする。町行政を運営するにあたり、住民視点での「気付き」や「発見」は大変重要である。協働の町づくりにむけて、町民の「気付き」・「発見」と、行政のスピーディな対応が互いの信頼関係を築いていく核になると考える。

◆いつから

今！！（新たな情報提供ツール：平成31年度～）

・誰がどんな役割

⇒1. 自分たち(町民)・・・気付き・発見を行政に伝える。(要望・職員に対する意見等)行政の対応が良いものであった場合は、ほめる・感謝する。
(良い意味で“うまく使う”(笑))

→町民が職員を表彰する「協働アワード！」

2. 行政・・・町民から寄せられた気付き・発見や改善のための意見・要望に対し誠意をもって迅速に対応する。情報提供のツールの模索。
3. 関係者・・・気付き・発見のアンテナを張る